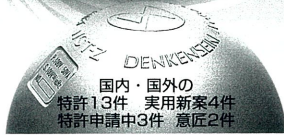


草分けしてから半世紀

アイスカットトランス™ は
電研精機研究所の
刻み続けた歴史です



国内・国外の
特許13件 実用新案4件
特許申請中3件 意匠2件

- 1960年 開発 自社製品に着用開始
- 1965年 特定ユーザに提供を開始
- 1976年 講座・放送講座・学会・技術者協会・講演等で発表
- 1978年 電波障害防止中央協議会表彰
- 1979年 一般市販開始
- 1982年 カタログ販売開始
- 2018年 公益財団法人高エネルギー加速器科学研究奨励会 熊谷賞受賞

アイスカットトランス™ は電研精機研究所が始めて開発して
名づけたノイズ防止用アイソレーショントランスです

12のシリーズからお選びいただけます

アイスカットトランス™の性能は1次と2次のコイル相互の位置関係によって大きく分かれ、3種類の基本形が生まれます。(★詳しくは電気学会論文誌 vol.117-A, No.12, Dec.1997, P.1213~1220の拙論をご覧ください。ただか、弊社宛に技術資料をご請求下さい。)表2の「コイル配置の形式」がそれです。

表2③の異軸異心ツイスト形は極めて高いノイズ減衰率と信頼性を必要とする場合に適しますが、加工度が高く従ってコスト高になります。

表2②の異軸異心形は①より高等度のノイズ減衰率を必要とする場合に適合しておりますが、①に比べてやや電圧変動率が大きくなります。

表2①の同軸異心形は②③に比べればややノイズ減衰率が低くなりますが、流通量の多い安価な材料が使用でき、加工もより容易で低コストで済みます。

コイル配置の形式	型名	標準品の電力容量	受注製造できる電力容量	摘要
①同軸異心	F1型	単相 10VA~500VA	単相・三相 1VA~1000kVA	スタンダードモデル
	F3・F4型	単相 1kVA~5kVA		100V・200V 切替モデル
	F5・F6 F6-CE型	単相 1kVA~5kVA		中容量・低価格重視モデル
	J型	三相 2.5kVA~52kVA	単相・三相 1kVA~1000kVA	インバータ・その他用モデル
	I1・I2・I3・I4型	単相 10VA~2kVA		小型・低価格重視モデル
	K型	単相 1kVA~10kVA	単相・三相 1kVA~100kVA	厳重装備の雷サージ防止用モデル
	M型	単相 1kVA~5kVA		UL 対応カスタムメイド専用モデル
N型	単相 505VA~2kVA		薄型モデル	
②異軸異心	G型	単相 50VA~10kVA	単相・三相 50VA~200kVA	高性能モデル
③異軸異心 ツイスト	Z型	単相 40VA		最高性能モデル
不特定	B型		単相・三相 1VA~1000kVA	お客様個別仕様ごとの量産特注品
	L型		単相・三相 1VA~1000kVA	

表2: アイスカットトランス™の形式分類

※ アイスカットトランス™は、株式会社電研精機研究所の商標です。
※ 本カタログに記載の波形・図表・写真・文章等、一切の無断転載を固くお断りいたします。著作権は株式会社電研精機研究所に帰属いたします。